171019

証券コード：2927

健康食品・化粧品の受託（OEM）総合メーカー

株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンス

平成29年8月期　決算説明会資料

（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

美と健康を創造する AFC-HD アムスライフ GROUP

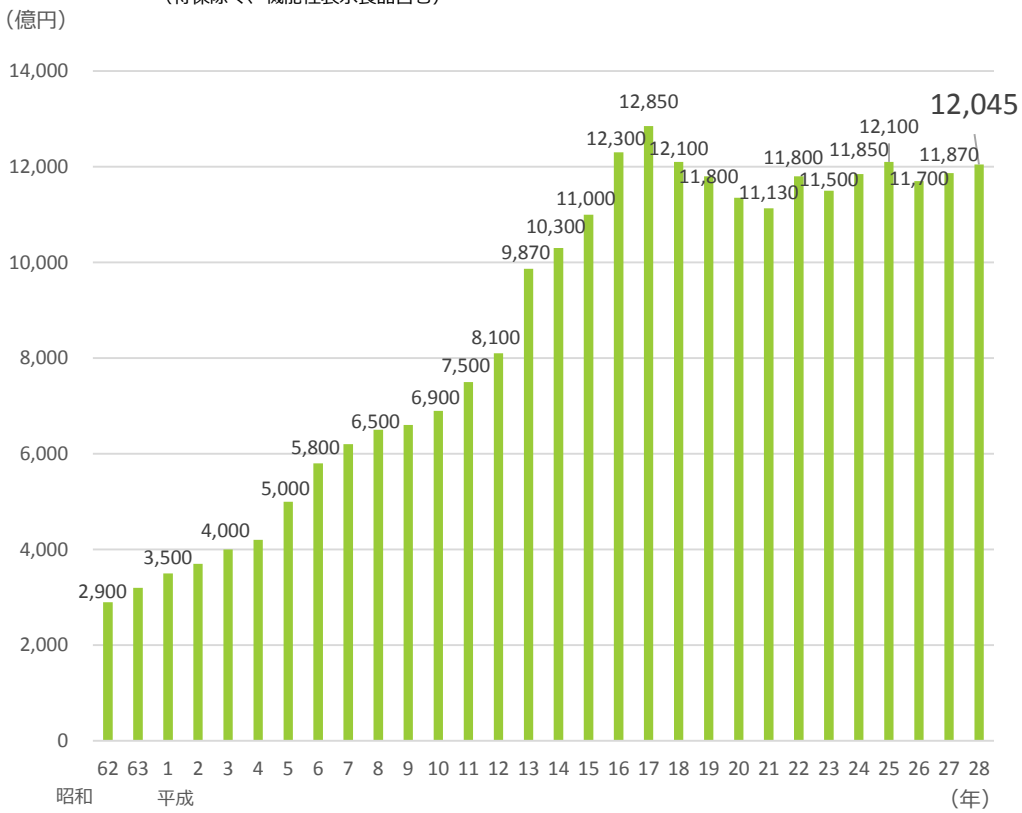
AFC-HD AMS Life Science Co., Ltd.

健康食品業界の動向

健康食品市場の推移

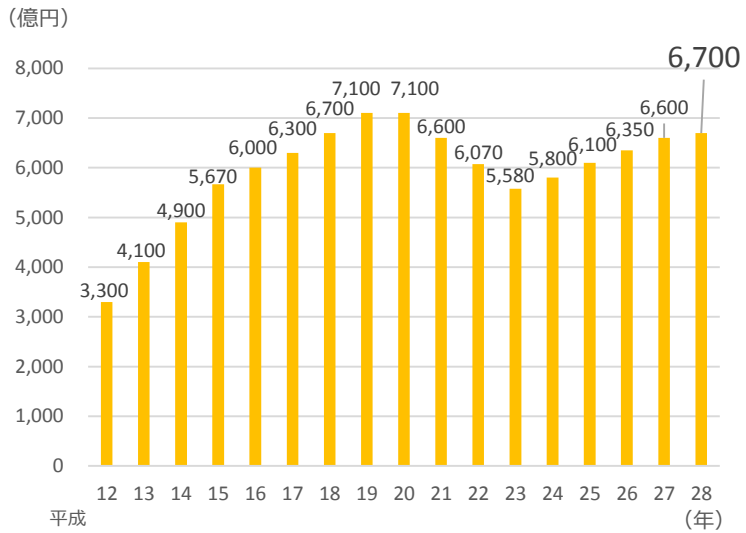
（特保除く、機能性表示食品含む）

【H28.12.22健康産業速報掲載】



特保市場規模の推移

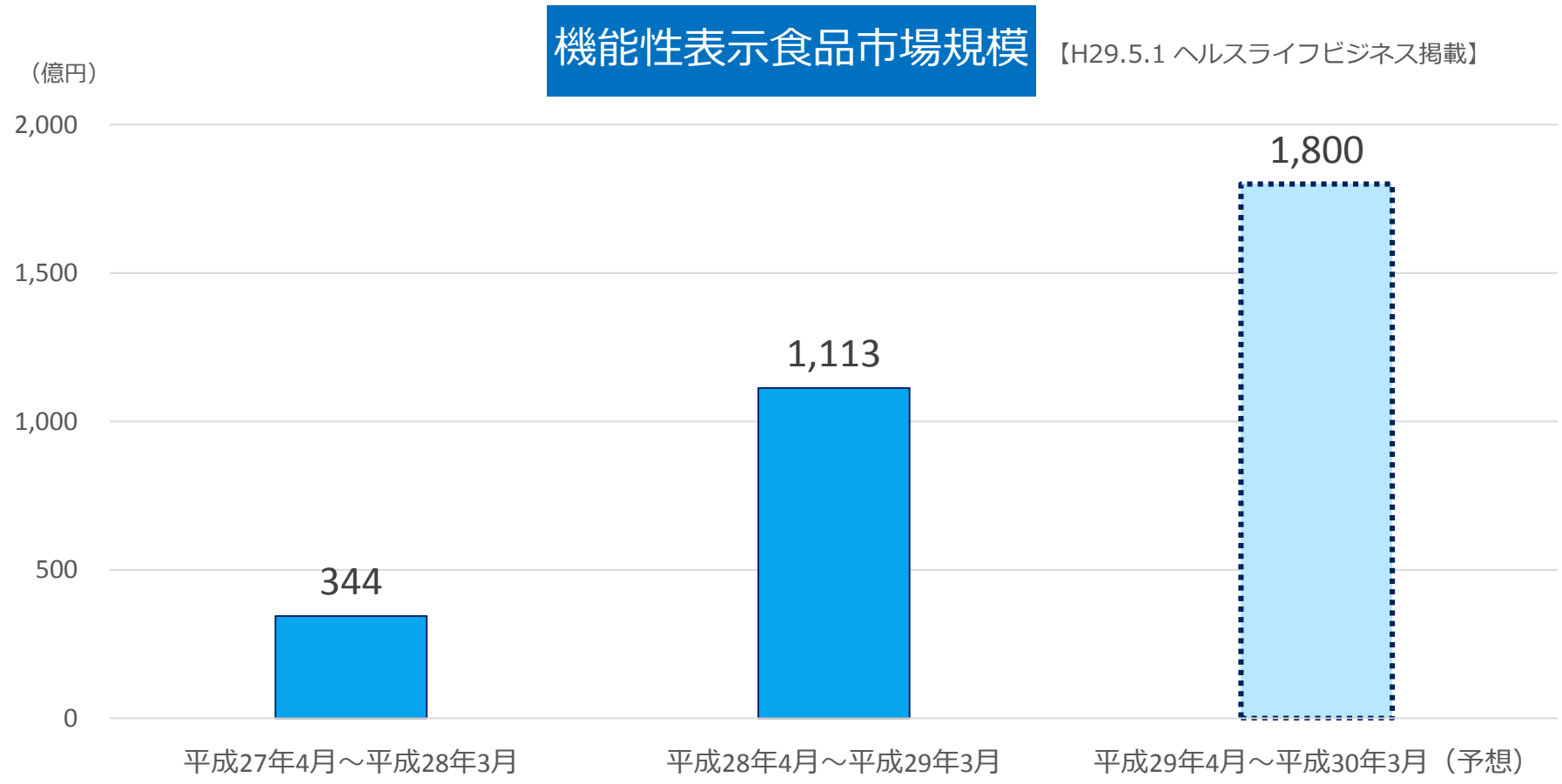
【H28.12.22健康産業速報掲載】



平成28年の健康食品市場は、インバウンド需要の減少などがあったものの、機能性表示食品の拡大（品目数の増加）やネット通販の好調により1.5%増の1.2兆円となった。　また近年、スーパーフードやオーガニックなど自然由来の食品の需要が増加傾向にあり、消費者の志向が多様化している。

健康食品業界の動向

ー機能性表示食品ー



市場をけん引しているのは、積極的な宣伝活動を行っている大手メーカーの商品。カテゴリー別では、飲料やヨーグルトなどサプリメント以外の商材が71%、サプリメントは全体の29%となっている。
今後数年は商品がさらに増え、市場規模の拡大は続くと見られる。（ヘルスライフビジネスより）

AFC-HDアムスライフサイエンスグループ

決算報告

連結 決算の状況

連結　業績比較表（直近３期間）

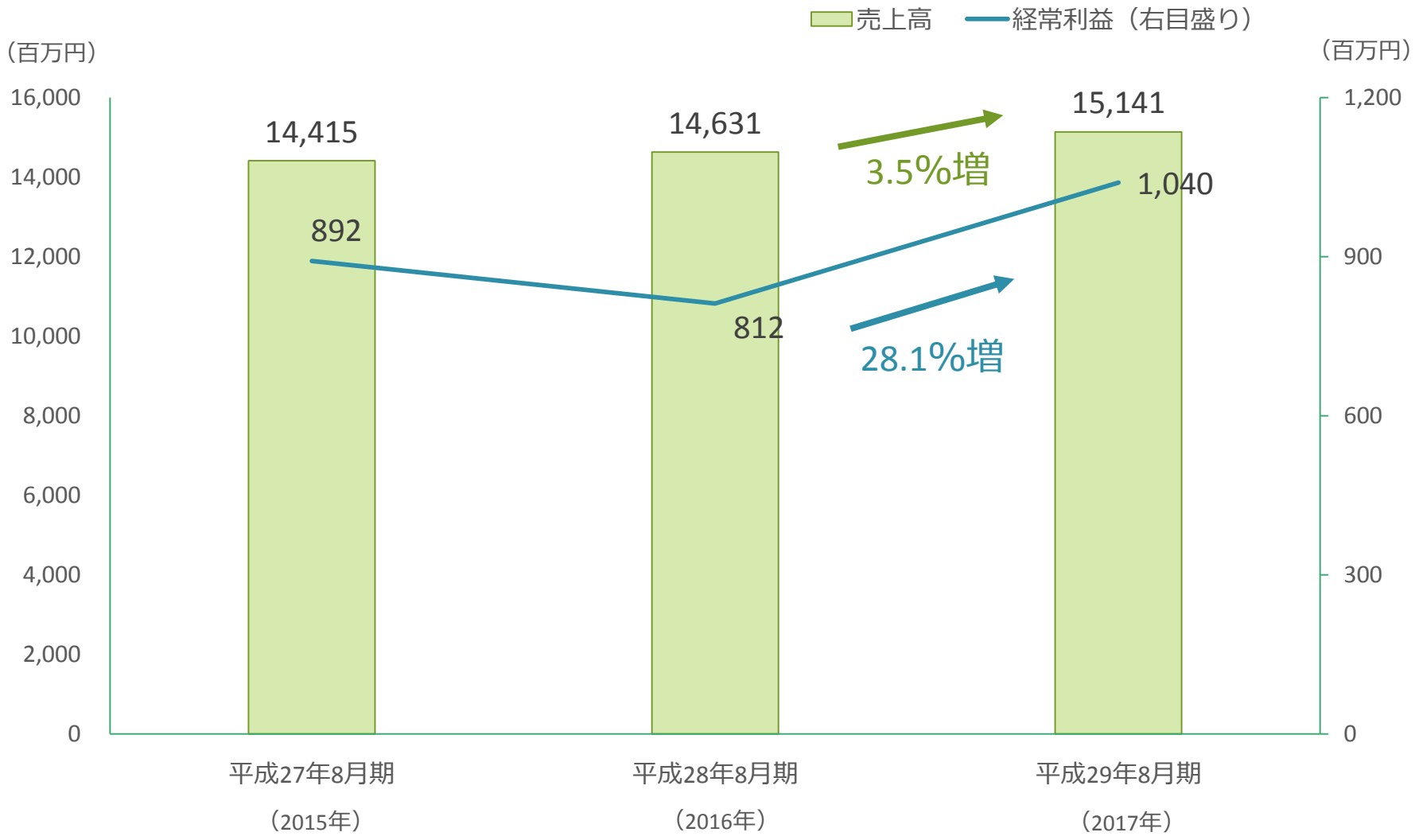
（単位：百万円）

連結	（2015年） 平成27年 8月期実績	（2016年） 平成28年 8月期実績	（2017年） 平成29年 8月期実績	対前期 増減率
売上高	14,415	14,631	**15,141**	3.5%
営業利益	951	890	**1,069**	20.0%
経常利益	892	812	**1,040**	28.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	605	489	**465**	△4.8%
経常利益率	6.2%	5.6%	**6.9%**	―

増収要因：青汁や酵素・酵母関連商品の好調に加え、ドラッグストア向け定番商品の拡大により、OEM部門が前期比10.7%増となったことが寄与した。

増減益要因：増収及び不採算品目の販売中止効果により、売上総利益が217百万円増加したことが寄与し、営業利益、経常利益が増益となった。
親会社株主に帰属する当期純利益については、役員退職慰労金や減損損失などの特別損失を計上した影響により減益となった。

連結 業績推移


売上高
経常利益（右目盛り）
（百万円）
（百万円）
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
1,200
900
600
300
0
14,415
14,631
15,141
892
812
1,040
3.5%増
28.1%増
平成27年8月期
（2015年）
平成28年8月期
（2016年）
平成29年8月期
（2017年）

連結 売上高の状況

連 結　事業部門別 売上高の状況（直近2期間）

（単位：百万円）

連結	事業部門	平成28年 8月期実績	平成29年 8月期計画	平成29年 8月期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
ヘルスケア事業	OEM部門	7,687	8,100	8,509	822	10.7%
	海外部門	685	800	734	48	7.1%
	通信販売部門	1,593	1,760	1,704	111	7.0%
	卸販売部門	1,070	840	833	△236	△22.1%
	店舗販売部門	2,265	2,180	2,108	△157	△7.0%
	その他	92	120	110	18	19.7%
医薬品事業	ー	1,236	1,200	1,141	△95	△7.7%
合計	ー	14,631	15,000	15,141	510	3.5%

連結 資産の状況

※借入･社債･割賦未払金

（単位：百万円）

連結	（2016年） 平成28年8月期	（2017年） 平成29年8月期	対前期増減額
資産合計	16,343	16,761	418
内訳 流動資産	8,232	8,308	76
固定資産	8,111	8,452	341
負債合計	8,971	9,098	126
内訳 流動負債	6,001	7,748	1,747
（上記のうち有利子負債※）	（3,128）	（4,714）	（1,586）
固定負債	2,969	1,349	△1,620
（上記のうち有利子負債※）	（2,359）	（917）	（△1,441）
純資産	7,372	7,663	291

流動資産：売上の増加に伴い、売上債権や商品・製品在庫などが増加。

固定資産：当社の工場機械や子会社のジェネリック医薬品製造設備に設備投資し、有形固定資産が増加。

流動負債：返済期限が1年内に到来する長期借入金が固定負債から振替えられ1年内返済予定の長期借入金が増加。

固定負債：返済期限が1年内に到来する長期借入金が流動負債へ。役員退職慰労金の支払いにより、役員退職慰労金が210百万減少。

純資産：親会社株主に帰属する当期純利益の計上により、利益剰余金が284百万円増加。

単体 決算の状況

単 体　業 績 比 較 表（直近３期間）

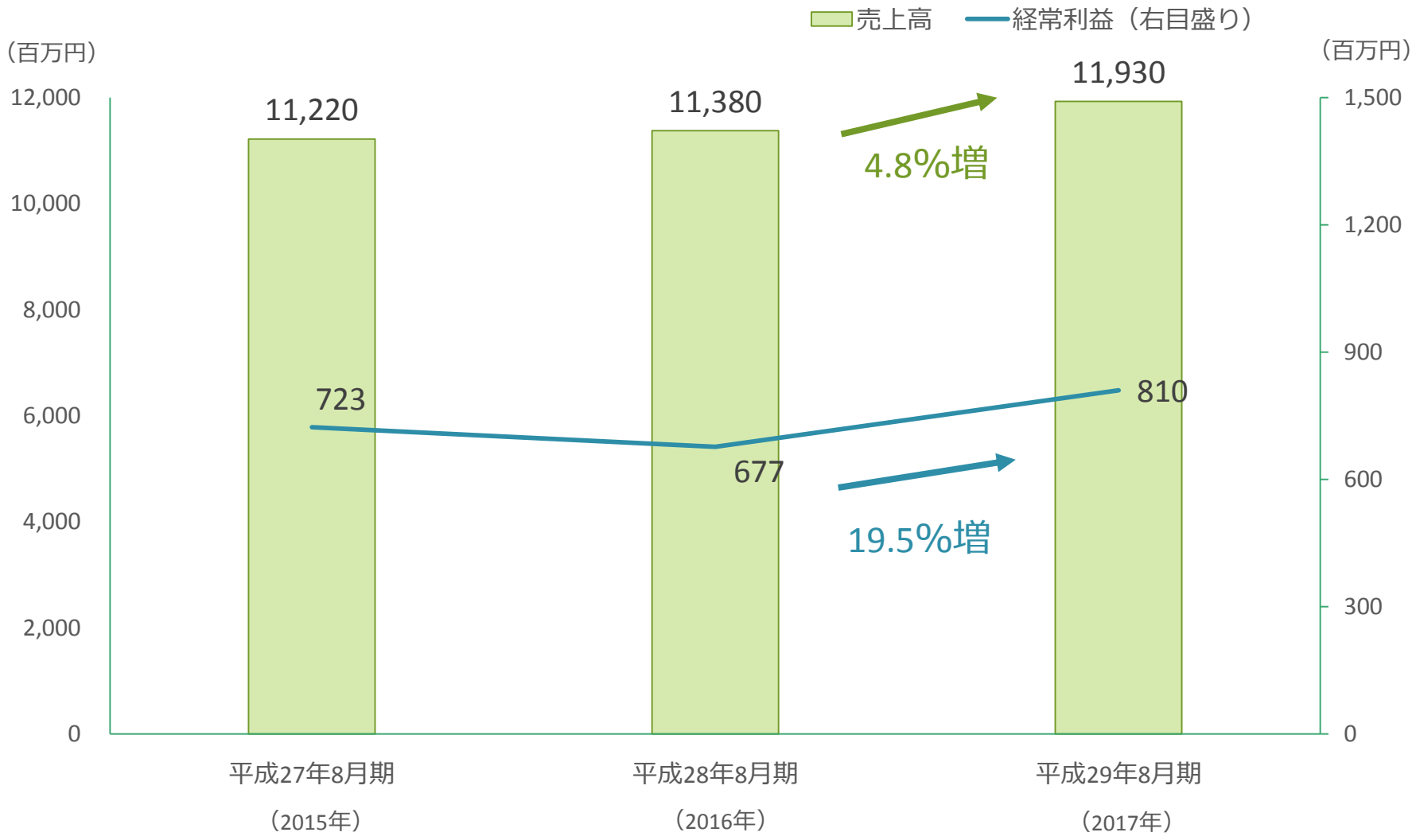
（単位：百万円）

単体	（2015年） 平成27年 8月期実績	（2016年） 平成28年 8月期実績	（2017年） 平成29年 8月期実績	対前期 増減率
売上高	11,220	11,380	11,930	4.8%
営業利益	739	705	803	13.8%
経常利益	723	677	810	19.5%
当期純利益	488	183	218	19.2%
経常利益率	6.4%	6.0%	6.8%	―

増収増益要因：

連結の増収要因と同様、OEM部門の好調が増収に寄与。
増収効果により、売上総利益が126百万円増加したことが寄与し、営業利益、経常利益が増益となった。
当期純利益については、役員退職慰労金や貸倒引当金繰入額などの特別損失の計上により、税引前当期純利益は減益となったものの、税効果により増益となった。

単体 業績推移


売上高
経常利益（右目盛り）
（百万円）
（百万円）
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
1,500
1,200
900
600
300
0
11,220
11,380
11,930
723
677
810
4.8%増
19.5%増
平成27年8月期
（2015年）
平成28年8月期
（2016年）
平成29年8月期
（2017年）

事業報告と今後の取り組み

AFC-HDアムスライフサイエンス
OEM事業　報告と取り組み

平成29年8月期

●既存顧客の伸長

○青汁、酵素・酵母関連商品が安定的に成長

○ドラッグストア向けの定番商品が拡大

○プラセンタ商品が伸展

青汁

【取引社数】

前期 357社 → 当期 369社　増加

●大ロット商品が増加

●生産量が増加

・造粒　　前期比　106.7%

・打錠　　前期比　107.8%

・ソフトカプセル　前期比　118.1%

・ハードカプセル　前期比　156.1%

●設備投資

・スティック充填包装機　２台

・ハードカプセル充填機　１台

スティック包装

多列式自動充填包装機械

AFC-HDアムスライフサイエンス
OEM事業　報告と取り組み

平成30年8月期

◇機能性表示食品の市場動向

・特定保健用食品制度：平成3年開始（26年が経過）

許可・承認：1127品目（H29.3.31現在／H29.4.3日本健康･栄養食品協会ﾘﾘｰｽ）

・機能性表示食品制度：平成27年4月開始（2年半が経過）

届出受理　：1,064品目（H29.9.28現在／H29.9.29健康産業速報掲載）

トクホと品目数で並ぶようになった機能性表示食品は、今後の健康食品業界の大きな流れになると思われる。

●機能性表示食品について、原料メーカー・販売会社と連携し、より多くの届出受理を目指していく

【当社が取り扱う届出の受理】

前期 5社 6品目 → 当期 22社 29品目

●大ロット商品の獲得を強く推進し、売上増とともに、生産の効率化も進めていく

●拡大傾向にある化粧品の取り扱いをさらに拡充していく

・基礎化粧品

・シャンプー

OEM事業のサポート
日本予防医学研究所　報告と取り組み

平成29年8月期

課　　題

・OEM市場の競争激化
・健康補助食品GMP認定工場の一般化

↓

競合他社との差別化が必要

目　　的

・競合他社より一歩進んだ
製品の品質を確保する新たな手法の
導入を目的とする。

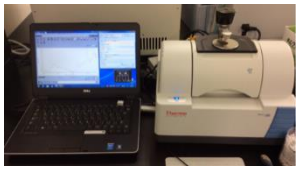
研究テーマ

①原材料受入れ態勢の強化
（製造品目全体に対する安心）
②経時変化対策
（製品クレームの削減）

研究の結果

① *分析機器（FT-IR）を用いた* **原材料の同一性確認の実施**

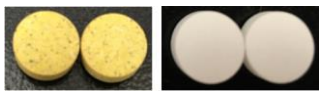
- 購入原料（4000品目以上）を全てデータベース化
- 原材料受入試験（同一性試験）の運用開始
  （データベース照合による原材料の同一性を担保）
- 異物検査への応用
  （データベース照合による異物の特定、精度、検査時間の短縮）



ＦＴ-ＩＲ
（フーリエ変換赤外分光光度計）

② *糖衣コートに替わる* **被覆コーティング技術の開発**

- 被覆剤（酸化チタン、炭酸カルシウム、ドロマイト等）
  ＋着色料を用いたフィルムコートの新技術
- 斑点や色調のマスキング
- 経時変化（褐変、変色、吸湿）のマスキング
- 着色による外観の差別化、製品イメージの改善
- 幅広いコート基剤｛シェラック、植物性素材（HPMC）｝



被覆コートによる外観マスキング
（左：素錠【黄】→右：酸化チタン被覆【白】）

OEM事業のサポート
日本予防医学研究所　報告と取り組み

平成30年8月期

課　　題

・長年停滞する健康食品市場規模に対し、今後市場を牽引することが期待される商品群の開発

目　　的

・機能性表示食品制度に対応した商品開発並びに組織作りを目的とする。

機能性表示食品

背　　景

- 健康食品※1の市場規模は、2016年度（見込）7,500億円、2017年度（予測）7,618億円（対前年比101.6%）と予測される※2。
- 機能性表示食品については、2015年の制度発足初年度は、446億円に止まったものの、2016年度は新たな届出と受理が増加していることから市場規模1,483億円にまで拡大すると見込まれている※2。
- しかしながら、機能性表示食品制度に対する販売者の理解と体制の構築が遅々と進まない現状もある。

※1機能性を訴求した食品、且つその形状が、錠剤、カプセル剤、粉末、飲料等の商品
※2出典：矢野経済研究所「健康食品市場に関する調査を実施（2017年）」

強化策

- 機能性表示食品の開発並びに届出を主たる業務とする部署の設置及び人員の増員配置
- 販売者（届出者）：㈱日本予防医学研究所とした機能性表示食品の届出を行ない、受理実績を積む
- 受理実績を基に、OEM顧客の届出をフルサポート※3

→機能性表示食品に対応が難しかった販売者を支え、新規顧客の獲得に寄与する

※3届出に必要な文書の作成、商品設計、電子届出、受理までの問合せ対応、受理後の商品に関する対応までを含む

機能性表示食品の利点

- 商品のヘルスクレームがわかり易く消費者へ伝えられる
- 部位の記載が可能
- トクホと異なり、商品開発までの期間が短い
- トクホと異なり、ヘルスクレームの自由度がある

- 製造者の指定があるため、顧客の奪い合いになりにくい

AFC-HDアムスライフサイエンス
国際部　報告と取り組み

平成29年8月期

●シンガポールOEM顧客の受注伸長

・顧客先の販売網の拡大（米国・メキシコなど）

●ベトナムOEM顧客の受注伸長

・美容商材

◎トピックス

シンガポール政府関係のドラッグストア「UNITY」において、AFC代理店がNo. 1ブランドを受賞しました

現地新聞広告
平成29年8月31日掲載

チャンギ国際空港内のドラッグストア「ワトソンズ」店内

平成30年8月期

●既存顧客への拡販

・美容商材の市場ニーズの高まり

・特にベトナムは経済成長が著しく、可処分所得も上昇

●販売力のある新規OEM顧客の開拓

・現在、引き合いのある企業　３社

・銀行のネットワークの活用

取引先状況（平成29年8月期）

香港
OEM顧客

ベトナム
OEM顧客

シンガポール
AFC代理店
OEM顧客

韓国
AFC代理店

台湾
AFC代理店

フィリピン
OEM顧客

インドネシア
OEM顧客

AFC-HDアムスライフサイエンス
国際部　報告と取り組み

現地新聞広告　平成29年8月31日掲載

チャンギ国際空港内のドラッグストア　「ワトソンズ」店内

（※旧AFCもりや、旧正直村）

エーエフシー 百貨店事業部　報告と取り組み

平成29年8月期

●自社ブランド商品の推奨

機能性表示食品
「ラクするUC-Ⅱ（ユーシーツー）」

・機能性表示食品の上市

・ヒット商品「野菜の極」シリーズの全面リニューアル

国産野菜の極

国産野菜と果実の極

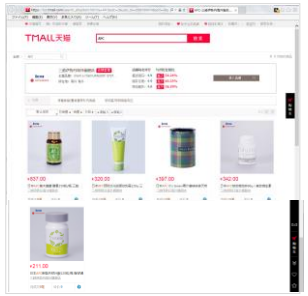
自社品販売比率の引き上げ

↓

売上利益率の上昇

●越境ECへの参入

・三越伊勢丹「天猫国際」にて販売開始



天猫国際サイトのAFC商品

●店舗数の減少により減収

平成30年8月期

●引き続き、自社品販売比率の向上

前期 50% → 今期目標 55%

●販売チャネルの開拓

・新規店舗の設置

・新規での催事等販売（高島屋系列等）

●出店状況

	店舗数
27年8月末	58
新規出店	2
閉店	5
28年8月末	55
新規出店	1
閉店	3
29年8月末	53

エーエフシー
通販事業部　報告と取り組み

平成29年8月期

● 「mitete（みてて）」ブランドの成功

・３月、新ブランド「mitete（みてて）」立ち上げ

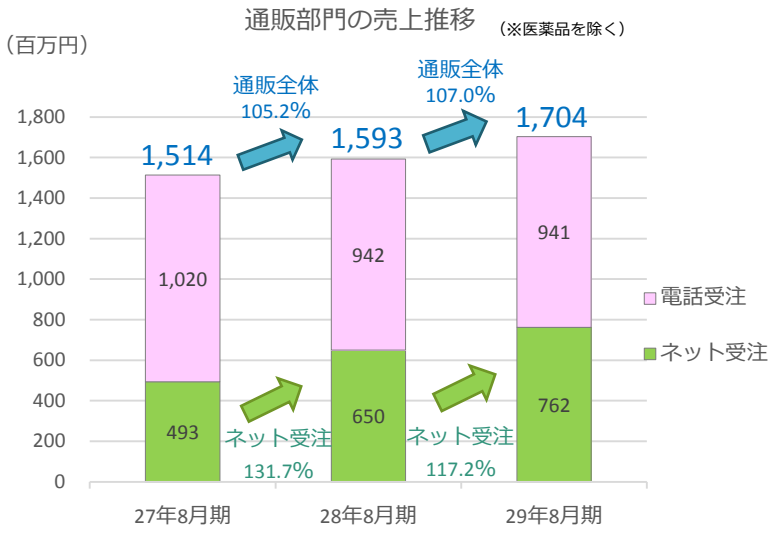
・順次、主力商品『葉酸サプリ』をはじめとする
結婚・出産・子育て世代に向けた既存商品群を
リニューアル

商品群の統一感・コンセプトの明確化

↓

ブランドの確立と優位性を高める

●ブランド統一がクロスセル商品の発展に寄与



エーエフシー
通販事業部　報告と取り組み

平成29年8月期

mitete

●マタニティ雑誌等に広告掲載

店頭用POP
（連動企画）

●ママイベントへの参加

●各種SNSに掲載

Instagram　facebook　twitter　LINE

●マタニティマークとのタイアップ広告

都営地下鉄　三田線

●ANAモールにて中国で販売

ANA

エーエフシー
通販事業部　報告と取り組み

平成29年8月期

● ドラッグストアとのコラボ企画が好調

・県内のチェーンドラッグストア「杏林堂薬局」との協力体制が安定

電話受注

店頭販売

テレビ・ラジオと連動した新聞広告を展開

漢方薬「ヨクイニン」の販売が好調

ヨクイニン

新聞広告（10月3日_静岡新聞_朝刊）

杏林堂との成功例を元に、
全国へ

エーエフシー
通販事業部　報告と取り組み

平成30年8月期

● 『葉酸サプリ』のプロモーションを継続

葉酸サプリ

● ドラッグストアとのコラボ企画の推進

杏林堂 SUPER DRUG STORE

ヨクイニン

● 好調商品・機能性表示食品の販促強化

・新聞広告：全国紙への継続的な出稿
・ＴＶＣＭ：地上波、WebTV

◎好調商品

オメガα（アルファ）

薬用アミノ酸シャンプー
爽快柑

◎機能性表示食品

ルテインGOLD

イチョウ葉GOLD

● ブランドの構築

・シリーズの整理、販促の統一など

エーエフシー 流通事業部　報告と取り組み

平成29年8月期

●コラーゲン関連商品の受注が伸長

・3月1日放送 NHK「ガッテン！」のコラーゲン特集が影響

華舞の食べるコラーゲン

●葉酸サプリの卸販売を開始

・ベビーザらス、西松屋、アカチャンホンポ

●インバウンド向け商品の受注減少により減収

平成30年8月期

●販促・広告の充実とキャンペーンなどの実施

●機能性表示食品の上市と充実化

『イチョウ葉エキス粒』

・発売日：10月6日
・届出番号：C121
・記憶力を維持する
・価格：1,680円（税抜）

イチョウ葉エキス粒

エーエフシーの販売促進サポート
日本予防医学研究所　報告と取り組み

機能性表示食品

●機能性表示食品の取り組み状況

平成29年10月11日現在

機能性	関与成分	評価	進捗状況	販路
アイケア	ルテイン・ゼアキサンチン	ＳＲ	平成28年12月発売　届出番号B167	エーエフシー通販
ひざ関節	非変性Ⅱ型コラーゲン	ＳＲ	平成29年2月発売　届出番号B206	エーエフシー百貨店・通販
アイケア	ルテイン・ゼアキサンチン	ＳＲ	平成29年10月1日発売　届出番号B611	エーエフシー百貨店
認知機能	イチョウ葉フラボノイド配糖体・イチョウ葉テルペンラクトン	ＳＲ	平成29年10月1日発売　届出番号C122	エーエフシー通販
認知機能	イチョウ葉フラボノイド配糖体・イチョウ葉テルペンラクトン	ＳＲ	平成29年10月6日発売　届出番号C121	エーエフシー流通卸
アイケア	ルテイン・ゼアキサンチン	ＳＲ	平成30年1月以降（予定）届出番号C154	エーエフシー流通卸
脂肪燃焼	コエンザイムQ_{10}	ＳＲ	届出文書準備中	エーエフシー流通卸
アイケア 疲労回復	アスタキサンチン	ＳＲ	届出文書準備中	エーエフシー流通卸
整腸 血糖値 中性脂肪	イヌリン それぞれ単独のヘルスクレーム・ ダブルヘルスクレーム（糖・脂肪）・ トリプルヘルスクレーム（整腸・糖・脂肪）	ＳＲ	届出文書準備中	未定
認知機能 中性脂肪	DHA それぞれ単独のヘルスクレーム・ ダブルヘルスクレーム（認知・脂肪）	ＳＲ	届出文書準備中	未定

本草製薬

本草製薬
報告と取り組み

平成29年8月期

漢方薬の製造・販売に特化

生薬原料の高騰により、利益率が低下

●ジェネリック事業を拡大するにあたり、自社開発・製造が必須となり、既存工場を改築

犬山工場（愛知県犬山市）

改築工事スケジュール

着工　平成29年2月10日

完工　平成29年8月末

平成30年8月期

●ジェネリック医療用医薬品の上市

・ピムロ顆粒（先発薬：アローゼン）

〔センナ下剤〕　　市場：15億円

【 2月：ロート製薬子会社 摩耶堂製薬から承継】

【12月：上市予定】

●ジェネリックOTC医薬品の上市

・解熱鎮痛剤

・抗炎症剤

・口内炎、のどの痛み

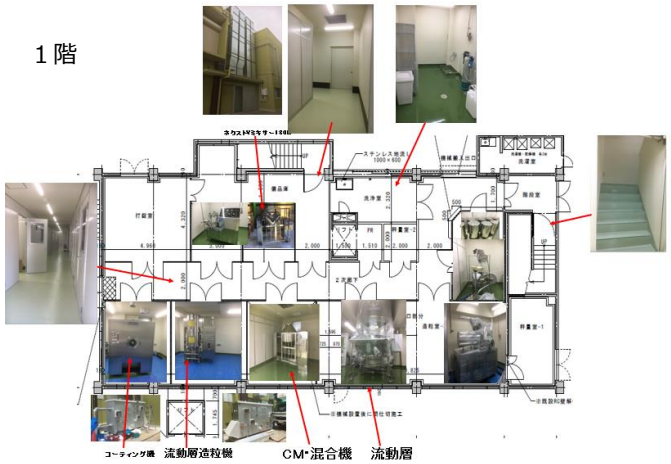
・アレルギー性鼻炎薬

本草製薬

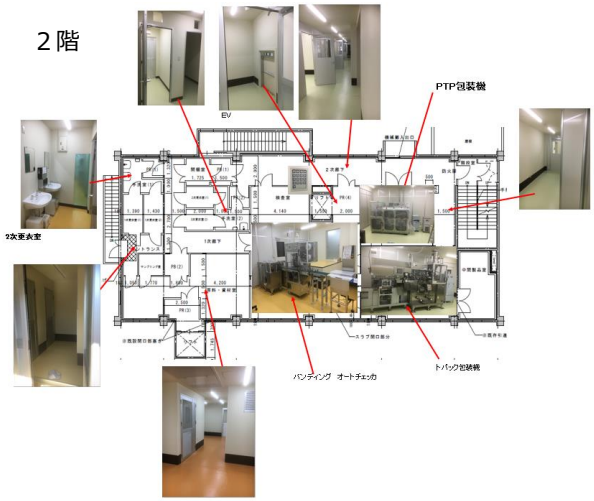
本草製薬
報告と取り組み

●犬山工場改築図面

1階



2階



●ピムロ顆粒

中・長期計画

エーエフシー
新規事業　日本語学校

海外事業の強化

問題点

・将来、国内人口は減少
・働き手の不足
・消費人口の減少

日本語学校の外観イメージ（静岡市）

目的

・海外事業を強化していく

外国人労働者の課題

・言葉の壁（コミュニケーション）
・品質の維持

手段

・日本語学校を設立、運営し、育成する

手段の詳細

①日本語学校で、語学のほか日本の習慣や道徳を学んでもらう。

②当社の職場で、生産・営業・管理・経営などに関する必要な知識や技術を経験を通じて習得。

③母国で、その知識などを活かして商品販売や製造などをおこなう。

名称：AFC INTERNATIONAL ACADEMY

■スケジュール（すべてが順調に進んだ場合）

・平成30年 3月　建物引き渡し
・平成30年 4月　入国管理局（法務省）へ申請、審査
・平成31年 4月　開校

■学校概要

・敷地面積：約300坪
・延床面積：約350坪（4階建て・学校／寄宿舎棟）
・学生定員：240名（6教室×20名、2部制）
・学生寮併設

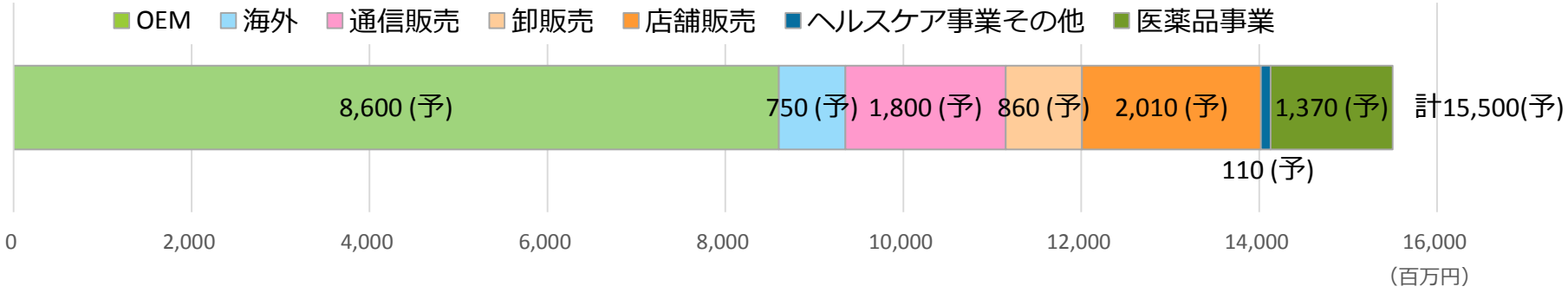
業績予想

平成30年8月期 連結予想

（単位：百万円）

連結	平成28年8月期	平成29年8月期	平成30年8月期 通期予想	対前期 増減率
売上高	14,631	15,141	15,500	2.4%
営業利益	890	1,069	1,170	9.4%
経常利益	812	1,040	1,120	7.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	489	465	660	41.7%

●平成30年8月期 部門別 売上高予想



ご質問 と ご回答

①エーエフシー直営店の店舗数が減少しているが、今後も減少は続くか？

今期は百貨店自体の閉店により2店舗の閉店が決まっている。新規出店を検討しているが、外商部との協同販売や媒体の発行、催事など店頭以外の売上増に協力的な百貨店へ出店したい。

②百貨店のビジネスから撤退してはどうか？

当社は店頭の売上だけではなく、自社工場を所有している。生産効率を上げるなど工場でのメリットもある。

③海外営業の人員を増加したとの事だが、今期予想が前期実績並み。なぜか？

海外部門の売上を月間1億円、年12億円にするべく人員を増加した。人材育成に３～５年かかるとみている。

④生産ラインの自動化（ロボット導入）を考えているか？

多品種・小ロットの業界なので自動化は難しい面があった。しかし最近は大ロット商品が増えてきた。現在は検討している。

最後まで御覧いただきまして誠にありがとうございました

株式会社AFC-HD
アムスライフサイエンス

本資料に関するお問い合わせ

社長室

TEL：054-281-5238

FAX：054-281-5139

E-mail：ir-ams@ams-life.com

URL：http://www.ams-life.com/

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。
そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述している将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。